



写真 462. 送電線は南に岬を縦断



写真 463. 送電線は北へ海を渡って隣の島へ

朝 9 時半を過ぎた段階で 31℃あるので、今日も暑くなること必至。国道 266 号を進むと、天草 5 号橋が見えてきた。昨日渡ったときは見えなかったが、赤い橋だったのね。



写真 464. 朝 9 時 30 分で 31℃



写真 465. 天草 5 号橋がみえる

国道 266 号をまた天草 5 号橋を使って引き返し、途中「三角大矢野道路」使って、また国道 266 号にもどり、今度は八代海側を走って、デコボン発祥の地を名乗る道の駅「不知火」で「元祖デコボンソフト」を食べてクールダウン。暑さで頭が朦朧としていて、味を覚えていない。冷たかったのを覚えている。



写真 466. 天草 5 号橋を引き返す



写真 467. 道の駅「不知火」



写真 468. 「元祖デコポンソフト」



写真 469. バイクにとまったアブの夫婦

宇城市内では、県道 14 号、国道 57 号を経由して、県道 501 号で有明海沿いを北上する。海岸沿いは、高い堤防に守られている。気温が 34℃まで上がってきた。



写真 470. 気温 34℃まで上昇



写真 471. 高い堤防の向こうは有明海

今回の九州の旅で、「たこやき大阪蜂来饅頭」と言うチェーン店の赤いタコ看板をよく見かける。県道が少し内陸に入ったところに「北部農園」という定食屋があって、そこで「塩サバ定食」を頂く。餃子が売りの店だが、この後友人の実家に寄るので「塩サバ定食」にした。



写真 472. よく見かける「蜂来饅頭」の赤タコ



写真 473. 「北部農園」



写真 474. 「塩サバ定食」



写真 475. 荒尾海岸では温度計は 35℃

国道 501 号を長洲港で国道 389 号に乗り換えて、有明沿いを進むとラムサール条約湿地「荒尾干潟」に出る。ここでは、地元の人達が「海の美術館」として、自然と景観を大切にしている所。「荒尾干潟水鳥・湿地センター」もあるが、月曜日なのでお休み。この手の施設は、「月曜は休館日が多く、鬼門」である。そして、有名な干潟も、満ち潮で拝めず。なんてことだ・・・。



写真 476. 「海の美術館」説明板と堤防の絵



写真 477. 「荒尾干潟」



写真 478. 「荒尾干潟」は満ち潮

その後、三池炭坑の跡を見学したかったので、月曜日は休館と知りながら「万田坑記念館」に行ってみたが、見れる物は何もなかった。途中に西日本で最大の遊園地と謳う「グリーンランド」の観覧車やジェットコースターが見れた。また海に戻り、福岡県に入った。「三池火力発電所」の大きな煙突や石炭の海上運送のために有明海の干満の水位差対策で作られた「三池港」を見物しながら、大牟田市内へと向かった。昨年亡くなった大牟田出身の学生時代の友人の実家を弔問した。



写真 479. 西日本最大の遊園地「グリーンランド」



写真 480. 三池炭鉱「万田坑記念館」



写真 481. 「三池火力発電所」



写真 482. 「三池港」



写真 483. 友人の実家を弔問



写真 484. 遂に 37℃になった

大牟田を出るときには、バイクの温度計は 37℃を示している。国道 208 号で柳川の宿に向かう。矢部川を渡ると宿はすぐだった。旅館「まつばや」は、アットホームな宿。敷地内にバイクを停めさせていただいた。部屋は、昭和の雰囲気宿ですが、きれいに整えられていた。家庭風呂のようなお風呂を頂いてから、近くのコンビニまでアイスを食べに行った。隣に「八劔（やつるぎ）神社」という小さな神社があった。1843 年頃創建らしい。



写真 485. 矢部川大橋が見える



写真 486. 旅館「まつばや」



写真 487. 旅館の部屋



写真 488. 八劔神社

夕飯は、海鮮メインのボリュームいっぱいの家庭料理で、おいしかった。



写真 489. おかずいっぱいの夕飯



写真 490. コースもだいぶ進んだ

次ページ (09_1) https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_09_1.pdf